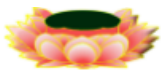




慶雲弘篤居士



ゆづりたる雲のごくとくをばわれず、広々とした
空に篤き心満する。

『戒名』 慶雲けいうん 道号どうごう 弘篤こうとく 法号ほうごう 居士こじ 位号いごう



水 篤あつし

昭和 年 8 月 23 日生 練馬区 出身
平成 15 年 8 月 日 歿 行年 歳 文恵の夫

慶 〓 よろこび 明るく力強い気持ちになる めでたいと祝う さいわい
よいこと ああ（発語）の義

雲 〓 高く遙かなもの 多く集めるもの きわめて高い場所、地位

弘 〓 ひろし 広める 大いなり 大いにする 弘法大師（空海）の一字

篤 〓 あつし かない もっぱらである 純一である 誠実である 念入りである
とつくりと 手厚くする 病気が重い

《解字》
会意兼形声。竹は、周囲を欠けめなくとりまいたたけ。篤は「馬と音符竹」。全身
に欠けめのない馬のことをいい、ゆきとどいた意となる。



通夜
葬儀
魂を呼び戻す 悪霊から身体を守る 死を確認する
導師だうし 〓 引導（道を示す）
故人こじん 〓 魂の浄化
参列者さんれつしゃ 〓 心のいやし

初七日忌
七七忌
黄泉よみの旅におもむく日
行き先の定まる日



梅松山

円泉寺えんせんじ

埼玉県飯能市平松三七六 電話〇四二（九七三）五七一六

<http://www.ensenji.or.jp>



冨月妙清大姉



尊き仏の悟りのごとく冨えわたる。

『戒名』 冨月^{こげつ}道号^{どうごう} 妙清^{みよせ}法号^{ほうごう} 大姉^{だいし}位号^{いごう}



サエ

昭和 年 5月 20日生
平成 年 月 30日歿
いわき市出身 旧姓 田
行年 歳

男の妻

冨^こ 意味^い さむい さえる 色や音がすんでいる

《意味》 「動詞・形容詞(こほる)(こぼる)。氷がかたくいてつく。こごえるように冷たい。

《同義語》

冨。

《日本語での特別な意味》 さえる(さゆ)。氷のように澄みわたる。「刀の冨え」

《解字》

形声。「冨」音符牙^が。

月^{つき} 仏教では、悟りの心を満月にたとえて用いる

古い時代には、夜の道を照らしてくれるものであり、また、日を数えるのにも大きな役をなした。そのやわらかな光は、人の心をなぐさめるものとして慕われた。

妙^{たえ} たえ 神髓 言うに言われぬほどすぐれている わかしたおやか

しなやか 無比

清^{きよし} きよし 水が澄んでいる けがれない 静か 涼しい あざやか

簡素でけじめがあるさま 明らか すがすがしい 清める のりもの



通^{とほ} 夜 魂を呼び戻す 悪霊から身体を守る 死を確認する

葬^{まう} 儀 導師^{だうし} 引導(道を示す)

故人^{こじん} 魂の浄化

参列者^{さんれつしゃ} 心のいやし

初七日忌^{しよちにちい忌} 黄泉^{よみ}の旅におもむく日

七七忌^{しちしちい忌} 行き先の定まる日



梅松山

円泉寺^{えんせんじ}

埼玉県飯能市平松三七六 電話〇四二(九七三)五七二六